

行政事業レビューシート (厚生労働省)						
予算事業名	医療機関等との連携による精神障害者の就労支援の実施		事業開始年度	平成19年度		
担当部局庁	職業安定局高齢・障害者雇用対策部		担当課室	障害者雇用対策課 地域就労支援室		
会計区分	一般会計		上位政策	高齢者・障害者・若年者等の雇用の安定・促進を図ること		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	障害者の雇用の促進等に関する法律第6条、第11条		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療機関等を利用している精神障害者の雇用への移行を促進するため、治療・社会復帰支援段階から精神障害者の職業準備性や職業意識を高め、就職に向けた取組を的確に行えるようにする。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	医療機関等を利用している精神障害者で、就職意欲は高いものの、職業準備性が整っていない者や、就職可能性が高いものの就職活動に伴う緊張や不安が大きいため、現実に就職に結び付くことが困難な者を対象に、ハローワークの職員が医療機関等を訪問して、就職活動に関する知識や方法についてガイダンスを行う。					
実施状況	21年度実績 1,552人が受講 ジョブガイダンスを受講し、求職活動などの就職に向けた取組に移行した者の割合 36%					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	47	45	41	36	36
	執行額	12	11	7		
	執行率	25.5%	24.4%	17.1%		
	総事業費(執行ベース)	12	11	7		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	上半期の実績については、10月末日まで、年度の実績については翌年度5月10日までに都道府県労働局から報告をさせており、対象者数や3か月後の状況(求職中等)等により、ガイダンスによる効果を把握している。				
	見直しの余地	事業の参加者のうち就職可能性が高い者について、ハローワーク等で適切なフォローを行い、求職活動・就職につなげていくことにより、さらに効果が高められる。				
予算監視の所見率化	概ね妥当であるが、引き続き予算の執行状況等に留意し、今後見直すべきところは予算に反映すべき。					
補記						

厚生労働省
7百万円

※金額は平成21年度実績



【予算示達】
A.都道府県労働局(47局)
ジョブガイダンス講習開催経費
7百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.都道府県労働局			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
諸謝金	ジョブガイダンス講師等の謝金	6			
旅費	ジョブガイダンス講師の旅費	1			
庁費	ジョブガイダンス資料の印刷、会場借料	0.3			
計		7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)